

こんなことに配慮しましょう

誰にでも、いつでもできる支援は、歩道などをふさぐように物を置かないこと、歩道をふさいでいる物を取り除くことです。車いすや杖を使用している人の通行を妨げないようにし、車いすや杖を使っている人の手が届かない場所にある物を取る、ボタンを代わりに押す、乗り降りしやすいようにドアを開けておくといったことも大切な支援です。



エレベーターなどで車いす利用者の手が届かないときには、「ボタンを押しますよ」と、声をかけましょう。

また、乗り降りしやすいようにドアを開けておきましょう。



杖を使っている人の中にはゆっくり歩いている人がいます。横断歩道の信号が青のうちに渡りきれない場合も、ドライバーは渡り終えるまで待ちましょう。

車いす利用者が段差や傾斜で困っている時には、車いすをいきなり押すなどせずに、「お手伝いしましょうか」と、必ず声をかけてから介助するようしてください。

車いす利用者とすれ違う時には、車いす利用者が安全に通行できるように、十分な間隔をあけるようにしてください。

音声コード

